



切絵 毛利将範

あたたかい春の風に誘われて、水辺の生き物たちもしだいに姿を現し始めた4月。

今号の「市民の活動レポート」に登場する柳瀬川でも、様々な水辺の生き物がみられ、いたるところに春の訪れが感じられました。

春から夏にかけ、各流域の活動もますます活発になってきます。『里川』では新河岸川流域で行われるイベントに密着取材し、随時皆様にお伝えしていきます！

目次

- P 2-3 東京の名湧水を考える学習会
- P 4-5 柳瀬川ウォッチング&出前水族館
- P 6 埼玉県からのお知らせ
- P 7 新河岸川流域川づくり連絡会報告
- P 8 流域イベント・インフォメーション
新所沢事務所通信

柳瀬川ウォッチング&出前水族館



3月15日(土) 午前9時~12時

主催: エコシティ志木/埼玉県生態系保護協会志木支部

3月の第3土曜日。エコシティ志木では、毎月恒例の柳瀬川ウォッチングと「出前水族館」が開催されました。珍客オシドリをはじめ、ヒドリガモ、コサギなどさまざまな野鳥が集い、川辺には春の草花が芽吹き始めていた柳瀬川河岸。参加者たちは魚しらべと野鳥しらべの2グループに分かれ、それぞれに春の訪れを探しました。

野鳥しらべグループは柳瀬川の河岸を散策し、出現する野鳥の種名と数をカウント。今回は32種の野鳥を記録しました。一方、魚しらべグループは投網を用いて魚の捕獲を試みました。この日捕獲されたのは合計40匹。通常よりも少ないとのことでしたが、道行く人も足を止めて、普段は見ることの出来ない柳瀬川の魚たちに入っていました。種類と体長を調査した後、魚たちは再び柳瀬川へと放流されました。



志木中筋の土手より柳瀬川を臨む。土手沿いに桜並木が続き、春にはお花見に訪れる人も多い



出前水族館に思わず足を止め、様々な種類の魚たちに感心する人々



投網を打つ参加者。志木中筋ポンプ場の流れのないところにはアマチチフやギンブナなど様々な小型の魚が生息している



鯉の産卵



ハシボソガラス。網中で見られるハシブトガラスよりも一回り小さく、畑や川辺などでえさを採す



脱皮中のザリガニ



新河岸川

柳瀬川

志木市役所

柏町2

志木中

柏町3

富士見橋

東武東上線

野鳥しらべ散策コース

出前水族館 (魚しらべ)

今回確認された種	匹数
モツゴ (クチボソ)	1
ギンブナ	2
ウキゴリ	1
アマチチフ	16
ドジョウ	1
ザリガニ	1
テナガエビ	18
合計 7種	40

※埼玉南部漁業協同組合と埼玉県から投網などを使うことの許可をもらってしらべています。

柳瀬川ウォッチング (野鳥しらべ)

今回確認された野鳥 (合計32種)			
カワウ	コサギ	カルガモ	コガモ
オシドリ	ヒドリガモ	ハシビロガモ	キジ
イカルチドリ	イソシギ	タシギ	セグロカモメ
キジバト	コグラ	ヒバリ	キセキレイ
ハクセキレイ	セグロセキレイ	ツヒバリ	ヒヨドリ
モズ	ジョウビタキ	ツグミ	シジュウカラ
オオジュリン	アオジ	カウラヒワ	シメ
スズメ	ムクドリ	ハシボソガラス	ハシブトガラス

今回確認された主な野草			
ヒメオドリコソウ	ホトケノザ	オランダミミナグサ	
コハコベ	ショウカサイ	ハルノノグシ	ナスナ
カラスノエンドウ	ヒロハウシノグサ	カラシナ	
ビナンカズラ	クコ	トサミズキ	スイハなど



川べりの流瀬に生息する川えびやザリガニなどは、手網を用いて捕獲する



市場ふれあいの森。地主の方の協力により、市が借りている公園。市民が縁に触れ合える場となっている



野鳥を観察する参加者たち



旧柳瀬川。柏町1丁目付近を流れ、梁橋のところで柳瀬川に合流している



いるは種の模型。江戸時代、新河岸川に注いでいた野火止用水を水田に引くために作られ、周辺の低地に多大な恩恵をもたらした。長さが百両以上もあることから「いるは種」と呼ばれていた



コサギ (写真上)。当日は3匹見られた



オシドリ (写真下)。足に標識がついており、他の野鳥に比べて人間に慣れているのが賢威心が低かった



東京の名湧水を考える学習会

1月24日に「東京の名湧水」が選定されました。「東京都湧水などの保護と回復に関する指針」に基づく最初の事業であり、湧水への関心を呼び起こすための大事な機会になると期待されます。湧水保全ネットワークでは、今後、名湧水について各地域がどのように取り組み、湧水保全に生かしていくかについて学習会が行われました。

開催内容

日時：2月15日(土) 13:00~17:20
会場：国分寺市もとまち公民館 2階
主催：湧水保全ネットワーク

(参加団体：水みぢ研究会、みずとみどり研究会、八王子ランドマーク研究会、藤山の水を守る会、東久留米ホタルを呼び戻す会、東久留米ほけしよぼうを守る会、黒目川流域川づくり懇談会、新河岸川水系水環境連絡会、朝霧・水の会、北川かつばの会、白子川源流・水辺の会、田無の自然を見つめる会、北多摩自然環境連絡会)

○真姿の池マンション建設予定地見学

○学習会

1. 報告

東京の名湧水選びの経過について
小倉紀雄(東京農工大学農学部教授)
請願提出に至る経緯について
星野順子(みずとみどり研究会)

自治体の対応:

国分寺市、日野市、板橋区、練馬区、東久留米市、調布市他。

市民団体の対応: 港区、東久留米市、国立市他

2. ディスカッション

名湧水の今後の取り組み
湧水保全の今後の方策
シンポジウム企画とネットワークづくりについて

○真姿の池 マンション建設予定地見学

の3つの専門部会を立ち上げ、市職員、事業者、市民、それに研究者も加わり、それぞれに協議を進めています。

○学習会 第1部・報告

14:10~15:40

第1部は東京の名湧水選定委員会の小倉委員による、「東京の名湧水選び」の経過報告と、みずとみどり研究会の星野さんによる「『東京の名湧水』選定を湧水の保護と回復に有効に生かすための請願」提出に至る経緯の説明がされた後、各自治体および市民団体の対応について参加者から発表がありました。

●真姿の池湧水郡とは？

旧環境庁による「名水100選」にも選ばれた都内有数の湧水で、5つの湧水源があります。



交通 JR中央線・武蔵野線「西国分寺」駅 徒歩15分
JR中央線「国分寺」駅 徒歩20分
場所 国分寺市東元町3丁目2446番地



●真姿の池湧水郡 飲料水として利用する市民も多い

1. 「東京の名湧水選び」の経過報告

(小倉紀雄:東京農工大学農学部教授)
湧水は池や川の貴重な水源であり、都民に潤いと安らぎを与えるものです。しかし、都市化の進展などによる水質の悪化や水量の減少により、湧水が失われつつあります。そこで湧水を保全・回復するためには都民の関心を高める必要があると考え、「東京の名湧水」を選定することにいたしました。選定基準としては、水量や水質の他に、由来や景観なども取り入れました。区市町村ならびに都民から推薦された湧水のうち、一般公開されており、都民が身近に触れることが出来るものを対象に選考した結果、

57箇所を「東京の名湧水」として選定しました。また、公開に制限があるため、名湧水として選定できなかった4箇所の湧水を、あわせて紹介することにしました。

2. 「『東京の名湧水』選定を湧水の保護と回復に有効に生かすための請願」提出に至る経緯

(星野順子:みずとみどり研究会)
名湧水の選定は急な出来事でしたが、条例で湧水を守る取り組みをするという指針が出たのは画期的なことだと思います。行政側、開発で危機に瀕している湧水を守る姿勢が見られたことは評価できますが、自然環境部および名湧水選定委員会が市民団体との連携をはかることなく、独自に選定を進めたことに問題があると思います。そこで、「選定作業をお願いします。都民参加ですめること」や「名湧水選定にあたっては、今後の保全・回復対策も含め検討すること」を東京都に請願しましたが、議会で不採択とされ、私達が求めている市民の名湧水選定への参加は実現しませんでした。

3. 各自治体及び市民団体の対応について

「名湧水」ということで聖域化され、市民の自由な立ち入りか制限される方向へ向かうのは望ましくない。
・自治体としては、今後は市民の了解のもと、環境基本計画の中で湧水の保全に取り組んでいきたい。
・東京都から湧水の指針が出たときに、各自治体の担当者に説明があった。しかし、具体的な進行日程に関しては未定だったため、区のほうでも区民と連携を図って準備を進められた経緯がある。
・水量や水質などの基礎データおよび他の市町村への兼ね合いを考慮した結果、数箇所のみ東京都に推薦できなかった。
・選定基準の中でも、自然的景観に注目して選考した上で、東京都

に推薦した。
・湧水の推薦に市民の参加が出来なかったことが残念。市としては、東京都の名湧水とは別に、市民による湧水の選定もしたい。

第2部・ディスカッション 15:50~17:20

第2部では、選定された名湧水についての対応や選定されなかった湧水についての見通しなどについて、参加者が見聞を述べあい、各自治体の担当者による湧水連絡会のネットワークを機能させることや、湧水保全ネットワークによるシンポジウム開催など引き続き活動をしていくことなどが確認されました。
・湧水保全の他にも、涵養の問題がある。涵養域の特定は難しいが、都市開発が水みち・礫層へあたえる影響について法整備を進めていく必要がある。
・街づくりは法や条例だけでなく、市民の合意を満たすことが必要のため、自然に影響を及ぼす恐れのある開発は、市民パワーによって押さえかけることが出来る。
・各自治体としては、東京都の対応を待つのではなく、ネットワークを作り、積極的に活動していくとよい。各自治体の足並みをそろえるためにも地区ごとや問題別に分けて行動することで、より活発な運動にしていけることが出来る。
・東久留米市では、みどりの延長線上に水の水考え方が出てきている。湧水保全に向け、基礎調査を開始した。単独の自治体だけでは難しいので、流域の他の自治体との連携を図っていく予定であるが、まずは単独での条例化を目指している。
・地球環境改善という全体的な取り組みの中で湧水の保全を考えていくとよいのではないかと。
・6月に全国レベルで湧水保全ネットワークのシンポジウムを開催する予定である。

「東京の名湧水」一覧

名称	所在地	所在地	
1 桜の井戸	港区元町1-6番奇形	33 中央書庫下湧水	日野市南町2-49
2 あとの山公園	港区芝浦2-10	34 小倉山湧水	日野市元町1-15
3 桜公園湧水	文京区塚02-11-31	35 芝見の池	国分寺市西国分2-3
4 日暮不動尊	目黒区下目黒3-20-26	36 新沢池	国分寺市南町1-7
5 多摩川ラフックラフック湧水	大田区田園調布1-53-10	37 駒ヶ野戸庭	国分寺市南町2丁目
6 清水浄水場	大田区北千代1-26	38 若菜の池・良泉の池湧水	国分寺市元町1-13
7 田舎跡本取池6層湧水	大田区田園調布本町39	39 ママ下湧水	国立市市池袋3
8 六層湧水/小川湧水	大田区田園調布1-22	40 新子の湧水(御成天宮)	国立市市池袋299
9 新沢湧水/新沢不動尊	自由区谷中4-1-25	41 溝田池	国立市市池袋507
10 山井山湧水	世田谷区北国分4-30	42 浅野池湧水	東大和市南町2-1044-2199
11 熊本野群衆池	世田谷区南町2-24	43 ニッポン公園	東大和市南町3-1085
12 湧井の正	渋谷区代々木南町2-4	44 高沢池	東久留米市池袋3-9
13 新橋寺川御所米下湧水	杉並区大塚2-24	45 竹林公園	東久留米市池袋4-5
14 多摩自然環境公園	北区赤羽5-2-34	46 新子の湧水	足立区北千代5-9-5
15 不動の湧水	板橋区赤羽3-11	47 霧の不動尊	稲城市矢野3222
16 湧水山神社の森	練馬区大塚1-6	48 六澤天神池	稲城市矢野2241
17 谷根池	八王子市谷根1079	49 嵐光寺	あきる野市二葉1189
18 字安神社	八王子市野山2-23	50 二尊神	あきる野市22316-1
19 八木杉公園	八王子市安成2-22	51 八雲神社	多摩市東山341
20 片倉神社公園	八王子市片倉2475	52 石安寺の湧水	奥多摩町大沢宮跡オウチ511
21 中島公園	八王子市南町2-41-6	53 藤の池	多摩市小宮町4下191
22 三田川湧水	立川市西国分3-26	54 藤の水	多摩市小宮町4下191
23 野川公園	三多摩大沢	55 多摩湧水	神奈川多摩川59
24 若湯水(小湧水)	青根町沢井1-770	56 つき湯水	神奈川多摩川59
25 西谷湧水	府中市西谷町2-423	57 大島川	御多摩市野田
26 瑞穂神	瑞穂町西谷町2-32-12		
27 瑞穂寺	瑞穂町西谷町2-2		
28 大田寺不動の滝	調布市深大寺元町5-15-1		
29 野井神社	小倉井南井町3-8		
30 源成泉	小倉井南井町3-2-28		
31 山形保一記念泉	小倉井南井町1-1-3		
32 瀬川湧水	自由市東町2-29		

※詳細は東京都環境局のHP (<http://www2.kankyo.metro.tokyo.kp/sizer/yuusui/57sen/ichi.htm>) にてご覧いただけます。

埼玉県からのお知らせ

●雨水浸透マス設置のお願い

現在埼玉県では、東川流域、不老川流域、新河岸川流域の3流域で雨水浸透マス設置の事業を実施しています。

東川流域	所沢市	平成6年から
不老川流域	川越市・狭山市・入間市	平成12年から
新河岸川流域	志木市 朝霞市	平成9年から 平成12年から

雨水浸透マスの普及にご協力を！

都市化が進むにつれて地面が屋根や舗装で覆われて地下への浸透が減少し、河川に流出する雨水が急速に増大するとともに湧水の枯渇、水質の悪化など水循環に悪影響が出てきました。そこで埼玉県では、流域対策として一戸建ての家を対象に浸透マス設置事業を実施しています。費用負担は、一切ありません。場所だけ提供してください。皆様のご協力をお願いします。

雨水浸透マスの3つのメリット

- ①治水対策
雨水を自然の土に浸透させれば、洪水を減らせます。
- ②地下水かん養
浸透させることにより、地下水かん養が図られ、湧水が復活します。
- ③地質改善
地下水が保留されることにより河川への湧水が増え、川の水がきれいになります。

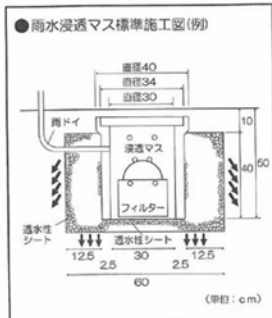
雨水浸透マスとは？

屋根に降った雨水を桶からマスに導き、地下に浸透させる貯留浸透施設です。屋根に降った雨水はトイレから雨水浸透マスに流れ込み、マスの側面や底面から碎石の間を経て地下にしみ込んでいきます。



この雨水浸透マスは水を通すマスの周囲に碎石を詰め込んだものです。

(左) 設置前の雨水浸透マス本体
(右) フィルターを入れ、ふたをすれば雨水浸透マスの完成です。



お問い合わせは・・・
埼玉県都市整備部
埼玉県新河岸川総合治水事務所 企画課担当
TEL 049-235-4838
FAX 049-235-4876

雨水浸透マス設置の手続き

- 1 申請書を提出していただきます
- 2 現地を確認し、マスの大きさなどを決定します
- 3 工事を実施し、その後県が完成検査を行います
- 4 県に確認書を提出していただきます



新河岸川流域川づくり連絡会 報告

平成14年度 第4回

新河岸川流域川づくり連絡会とは？

国土交通省荒川下流工事事務所と市民の方々の情報交換の場として定期的に開催しています。参加を希望される方や、詳細につきましては、荒川下流工事事務所または新所沢事務所へお問い合わせください。

平成14年度 第4回新河岸川流域川づくり連絡会

1.日時：平成15年1月23日
19:00~21:00

2.場所：新所沢事務所
3.所沢市の河川の現状について
第4回連絡会においては、所沢市下水道部河川課の方にご出席頂き、「所沢市の河川の現状」についてお話をさせて頂きました。以下にそのお話の一部とその後の質疑応答を示します。

■所沢市の河川の現状について
所沢市下水道部 河川課より
<砂川堀について>

・砂川堀は、上流から蟹飼橋までは普通河川(水路)で「砂川堀」よばれ、蟹飼橋から青葉台(鷲宮製作所近辺)までを「砂川堀都市下水道」、青葉台(鷲宮製作所付近)から下流側は「荒川右岸流域下水道砂川堀雨水幹線」となっている。
・都市下水道は主に市街地の雨水を排除する施設であり、砂川堀都市下水道においては、狭小ヶ丘地区等の雨水を排除するための施設である。流域下水道は流域をひとつの単位として2つ以上の市町村の下水(雨水)を集めて処理するためのもので、「荒川右岸流域下水道砂川堀雨水幹線」は4市2町で維持管理をしている。
・かつては非常に汚れた川で「日本一汚い川」とも言われたことがあった。しかし、流域の人々が努力をした結果、現在は改善が見られている。

・不老川については、水質改善の事業があり、例えば川越の下水処理場の浄化した水をさらに高度処理をして上流に流すといった事業もやっている。また河川を

直接浄化する施設も設置している。

<今後の河川・水路等の整備について>

・河川等の整備は、水害防止等治水を目的としているが、平成9年度に河川法が改正され、河川の持つ多様な自然環境や水辺空間に対する国民の要請の高まりに応えるため、従来までの「治水」、「利水」に加え、「河川環境」(水質、景観、生態系等)も考慮することになった。水路は河川法の適用外であるが、所沢市では水路を改修する場合も、できるだけ自然的な考えを取り入れていく方針としている。

・国土交通省、埼玉県および流域25市町村から構成されている「新河岸川流域総合治水対策協議会」に所沢市も加盟しており、新河岸川流域全体で治水対策として河川や水路の改修はもちろんのこと、調節池の整備、浸透マスの設置等の展開を図っている。

■質疑応答

Q「普通河川」と「都市下水道」と「流域下水道」の予算の財源は？

A、「流域下水道」については4市2町で維持管理費を負担している。改修工事の場合は、一部県の費用と国費が出る。所沢市は下水道の特別会計から出している。「都市下水道」については、大きな改修工事がある場合には国と県から補助金が出るが、維持管理については所沢市下水道部の単独の管理となる。「普通河川」は河川課が主管であり、一般会計の予算から出している。普通河川は河川法以外の河川となり、補助金はない。(所沢市)

Q河川法では川づくりについて住民参加を進めていくこととしているが、下水道についても計画・整備について住民参加

が必要であると思うが？

A.下水道に関しては、市民代表等で構成される「都市計画審議会」と「議会」で事業計画等に関して審議や承認が行われている。住民参加ができるような仕組みは必要と思われる。(所沢市)
B.行政側も住民を巻き込んで計画を作っていくことが必要になっていくと思うし、また住民側もある程度の盛り上がりというの、動きがでていないと、行政側もゼロから住民を盛り上げていくと官主導のものになってしまうと思う。よって住民・行政双方に参加に向けてある程度の土台ができた段階で隣方が手を握って進めていくということが理想的な姿であると思う。(荒川下流工事事務所)

平成15年3月10日 第5回新河岸川流域川づくり連絡会 議事録は次号に掲載いたします。

(開催場所)新所沢事務所 本誌P8参照
(お問い合わせ)新所沢事務所 または、新河岸川流域川づくり連絡会事務局
国土交通省 荒川下流工事事務所 調査課
TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346



第4回川づくり連絡会の様子

Information

イベントカレンダー

■新河岸川の集い

- ・日時：4月29日（祝）
 - ・集合場所：新河岸川「船橋」河川敷および日枝神社境内 10:00～15:00
 - ・主催：新河岸自治会／高砂自治会
- 当日は、歌、踊り、大道芸、川越舟歌の指導など色々楽しみがいっぱいです。また、船橋の岸から昔の舟運を想んで地元保存会の力々が舟を揃えます。舟から岸辺に咲き誇るからし菜を観ることもできます。
 (天候や新河岸川の水量によっては、中止になる場合もあります) 車までのご来場はご遠慮ください。
 ・お問い合わせ：049-246-2027 (川越市観光案内所【川越駅自由通路内】)
 ・開催時間：9:00～16:30 定休日：年中無休

■総合治水施設見学会

- ・日時：5月18日（日）
- ・見学場所：河川の調節池（溝瀬市、栗久留米市）および下水道の工事現場（栗久留米市）
- ・対象：小学4年生以上（小学生は保護者同伴。汚れてもいい服装で）
- ・費用：無料（昼食は各自持参）
- ・参加申し込み：往復はがきに郵便番号・住所、参加者名・年齢、電話番号を記入の上、
 〒163-8001 東京都都市計画総局都市基盤部内事務室へ（4月23日必着）。抽選で100人。
 ・お問い合わせ：03-5388-3298（東京都都市計画総局都市基盤部施設計画課）

■エコシティ志木 イベント情報

◆斜面林の手入れ

- ・日時：4月12日（土）10:00～12:00（雨天中止）
- ・集合：館第3児童公園（志木二小いさいさサロン角）
- ・主催：エコシティ志木／埼玉県生態系保護協会志木支部
- ・お問い合わせ：048-471-1338（天田）

◆河童のつづら・お宝発見ツアー

- ・日時：4月20日（日）14:00～16:00
- ・集合場所：いろは遊学館1階第1会議室
- ・お問い合わせ：048-471-4275（毛利）

◆柳瀬川ウォッチング&出前水族館

- ・日時：4月19日（土）9:00～12:00
- ・日時：5月17日（土）9:00～12:00
 (いづれも雨天中止)
- ・集合会場：志木中学校前の柳瀬川土手
- ・内容：魚しらべ（柳瀬川出前水族館）と野鳥しらべの2グループに分かれます
- ・主催：エコシティ志木／埼玉県生態系保護協会志木支部
- ・お問い合わせ：070-6114-0905（飯塚）

◆こどもとおとなの自然塾

- ①『春の野草を見てみよう』
 ・日時：4月27日（日）9:00～11:30（雨天中止）
 - ②『ツバメの子育てを見てみよう』
 ・日時：5月24日（日）9:00～11:30（雨天中止）
- ・集合会場：東武東上線「柳瀬川」駅サミット前広場
 - ・持ち物：筆記用具、図鑑（あると便利）
 - ・主催：埼玉県生態系保護協会志木支部／
 エコシティ志木／志木市教育サービスセンター
 - ・参加申し込み／お問い合わせ：
 048-471-2211（教育サービスセンター）



新所沢事務所

里川しんぶんについてや、活動についてのお問い合わせは、新所沢事務所まで、お気軽にどうぞ！

● 開館時間 ●	
月・水・金曜日	午後1時～午後5時
土・日曜日・祝日	午前10時～午後5時
火・木曜日	休館

会議などご利用になる場合は、開館時間の変更も可能です。ご利用の方は新所沢事務所までご連絡ください。

「里川新聞」掲載情報を大募集します！

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAXで新所沢事務所までお寄せください。

〒359-0043 所沢市弥生町2996-6 1F
 新河岸川流域川づくり連絡会 所沢事務所
 TEL/FAX 042-994-3212